



2022年5月13日

各位

会社名 株式会社フーバーブレイン  
代表者名 代表取締役社長 興水 英行  
(コード:3927 東証グロース市場)  
問合せ先 取締役 石井 雅之  
(TEL. 03-5210-3061)

## 通期連結業績予想値と実績値との差異及び 通期個別業績実績値と前期実績値との差異に関するお知らせ

2022年3月期の通期連結業績予想値と実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。また、当社は、個別業績予想につきまして開示しておりませんが、2022年3月期の通期個別業績実績値と前期実績値との対比において、その差異が適時開示の基準に達しましたので、併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2022年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異について

##### 2022年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2021年8月13日発表)	百万円 1,700 ~1,900	百万円 △50 ~50	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
当期実績値 (B) (2022年3月期)	1,682	△57	△59	△29	△5 51
増減額 (B-A)	△17 ~△217	△7 ~△107	—	—	
増減率 ( % )	△1.0 ~△11.4	—	—	—	

(注) 当期より連結財務諸表を作成しているため、参考情報としての2021年3月期実績値は記載していません。

#### 2. 差異の理由

売上高につきましては、ITツール事業のセキュリティツールにおいて、身代金要求型ウイルス「ランサムウェア」やメールで感染を広げるマルウェア「Emotet (エモテット)」等、感染被害が目に見える形のサ

イバー攻撃が拡大し、企業規模を問わず、サイバーセキュリティ対策強化の必要性の認識が高まっております。このような背景により、当社のセキュリティツール製商品群の需要は高まっております、販売実績が継続して伸びております。

また、2020年4月より国内2社目の総代理店（ディストリビューター）として取り扱いを開始しております世界初のSASE（サシー）プラットフォーム「Cato Cloud（ケイトクラウド）」は、複数の有力SIerとの二次店（リセラー）契約締結により、販売実績が順調に増加しております。

さらに、ITツール事業の働き方改革ツールについては、新型コロナウイルス感染症対策による在宅勤務導入の広がりにより、当社働き方改革支援製品「Eye “247” Work Smart Cloud（アイ・トゥエンティフォー/セブン ワークスマート クラウド）」の導入企業が1,700社超と増加いたしました。

ITサービス事業においては、2021年4月に子会社化したGHインテグレーション株式会社（以下、「GHI」という。）のITエンジニア人材の需要が強く、堅調に売上高を伸ばしました。

しかし、当社に直接的な著しい影響はなかったものの当社セキュリティツール製商品群を販売する販売代理店における新型コロナウイルス感染症による営業自粛等、当社販路の一部停滞等があり、通期連結業績予想値のレンジ上限に対して差異が生じました。

営業利益につきましては、上記売上高の状況に対して、市場の競争環境が高まっているため、「Eye “247” Work Smart Cloud」の競争力向上に向けた製品力強化に伴う開発関連費用の維持等により、同じくレンジ上限に対して差異が生じました。

### 3. 2022年3月期通期個別業績実績値と前期実績値との差異について

2022年3月期通期個別業績実績値と前期実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値 (A) (2021年3月期)	百万円 1,083	百万円 △101	百万円 △119	百万円 △174	円 銭 △34 18
当期実績値 (B) (2022年3月期)	1,240	△62	△65	△14	△2 78
増減額 (B - A)	157	38	53	159	
増減率 ( % )	14.5	—	—	—	

### 4. 差異の理由

売上高につきましては、上記のとおり、当社のセキュリティツール製商品群の需要は高まっております、販売実績が継続して伸びております。2020年4月より国内2社目の総代理店として取り扱いを開始しております世界初のSASEプラットフォーム「Cato Cloud」は、複数の有力SIerとの二次店契約締結により、販売実績が順調に増加しております。働き方改革ツールについては、新型コロナウイルス感染症対策による在宅勤務導入の広がりにより、当社働き方改革支援製品「Eye “247” Work Smart Cloud」の導入企業が1,700社超と増加いたしました。その結果、売上高は前期実績を上回り過去最高を更新しました。

しかし、売上高増加に伴う売上総利益の増加はあるものの、市場の競争環境も高まっているため、「Eye “247” Work Smart Cloud」の競争力向上に向けた製品力強化に伴う開発関連費用の維持等により、営業利益及び経常利益の赤字幅は縮小したものの、各損失を計上することとなりました。

2022年1月31日付公表「伊藤忠テクノソリューションズ株式会社との資本業務提携及び連結子会社株

式の一部譲渡に関するお知らせ」のとおり、当社は、伊藤忠テクノソリューションズ株式会社と当社連結子会社であるGHIを共同で保有し、協力して経営することが、当社グループのITサービス事業の更なる拡大には有益であると判断し、同社と資本業務提携契約を締結のうえ、GHIの株式の一部を譲渡した結果、関係会社株式売却益を計上したことにより、当期純利益の赤字幅が大幅に縮小しました。

以上